

県立邑久高等学校への支援について

1. 瀬戸内市における邑久高校の位置づけ

県立邑久高等学校は市内唯一の高等学校であり、将来の地域を担う人材育成の拠点として、また地方創生の観点からも地域コミュニティの核として、その存在は欠かせないものです。しかし、少子化の影響や、市内中学校の卒業生が岡山市内の高等学校を志願する傾向が高まっていることなどにより、在校生の数は減少しています。

そのような中、邑久高校では、地域学「セトリー(Be a SETOUCHI Leader)」により、市や地域とも協力して地域課題の解決を通じた探究的な学びに取り組んでいることや、令和2年には生活ビジネス科の新設などの魅力化に取り組んだ結果、入学試験の競争倍率も上昇傾向にあります。

県立邑久高等学校

令和2年 4月 1日 生活ビジネス科設置
令和2年11月13日 創立100周年記念式典
(入試倍率)

平成31年 普通科のみ0.67

令和 2年 普通科0.50、生活ビジネス1.03

令和 3年 普通科1.39、生活ビジネス1.29



2. 邑久高校への支援

本市では、若い世代の活気ある地域コミュニティの核として邑久高校を地域と一体となって支援する方針としており、「第2期瀬戸内市太陽のまち創生総合戦略」においても、「地域の発展に関わる人材育成に向けた邑久高校生徒への支援」を重点事業として掲げ、更なる魅力の向上につながる支援などに取り組むこととしています。

<第2期瀬戸内市太陽のまち創生総合戦略(令和2年3月策定)>

基本目標2

「このまちとつながりたい」、「このまちで家族と暮らしたい」と思われるまち

基本方針(1) 郷土愛の醸成

郷土を知り、地元へ愛着(郷土愛)を持つ市民が多くなるような

「ひとづくり」を目指す

① 魅力的な人づくり

地域の発展に関わる人材育成に向けた**邑久高校生徒への支援**

若者の郷土愛の醸成、地域活性化

主な支援内容

- 地域学「セトリー」への協力
 - ・ 市長講演(邑久校生に期待すること)
 - ・ 市の課題についての講義
 - ・ 地域おこしに関する座談会への職員派遣
 - ・ 各種テーマに応じた講師派遣
 - ・ 学校評議員、運営指導委員としての参画 等
- 地域社会に貢献できる人材育成
 - ・ 計画策定に係るワークショップへの参加
 - ・ 市営バスのラッピングデザイン
 - ・ SDGsカードゲーム作成によるまちの課題解決の検討 等
- キャリア教育支援
 - ・ 市内企業見学のバス代助成
 - ・ インターンシップの受け入れ 等



セトリーの市職員講義風景

3. 邑久高校の状況

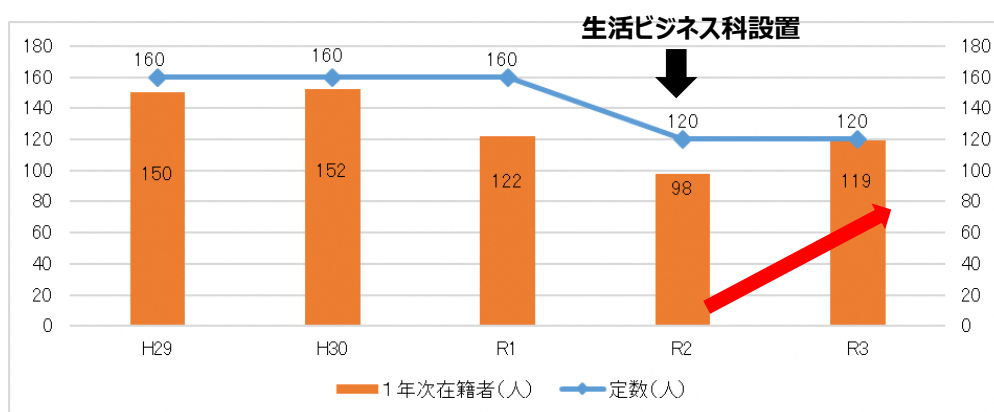
①在席生徒数(R3.5.1 現在)

学科	普通科		生活ビジネス科		計
	男	女	男	女	
1年次	15	24	21	59	119
2年次	13	10	23	46	92
3年次	46	65			111
計	74	99	44	105	322

②市町村別生徒数(R3.5.1 現在)

市町村	人数
瀬戸内市	113
岡山市	158
備前市	40
その他	11
計	322

③在籍者(1年次)の推移



4. 邑久高校の将来に向けて

地方創生の観点からも、地域の魅力の一部ともなっている邑久高校の存在は非常に大きいものであり、今後も様々な面から邑久高校を積極的に支援していきたいと考えています。

高校生をはじめとした子ども達は将来の瀬戸内市を担う人材であり、社会全体で育む必要があります。今後も、邑久高校と連携を図りながら、高校と地域をつなぐ役割を担うことで、邑久高校の魅力化と将来を担う人材育成を支援し、瀬戸内市の人口減少問題の克服と、地方創生の実現を目指します。